allcinema

今度は愛妻家（2009）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　コメディ
製作国　日本
色彩　Color
時間　131分
初公開日 2010/01/16
公開情報 東映
映倫　G

【キャッチコピー】
夫婦には「さよなら」の前に、やらなければならないことがある。

【解説】
　脚本家・中谷まゆみ原作の同名舞台劇を豊川悦司、薬師丸ひろ子主演で映画化した感動の夫婦愛ドラマ。ぐうたらなダメ夫が結婚10年になる妻との結婚生活にうっとうしさを感じながらも、いつしかごく当たり前の日常の幸せをかみしめていく姿を、コミカルな演出を織り交ぜつつしみじみとしたタッチで綴る。監督は「北の零年」「遠くの空に消えた」の行定勲。
　かつては売れっ子カメラマンだった北見俊介だが、今は写真も撮らずにダラダラと呑気な毎日を送っている。一方、健康オタクの妻さくらは、そんな夫に文句を言いながらもかいがいしく世話を焼く日々。しかしあるとき俊介は、友だちと箱根旅行に行く直前のさくらに“子どもを作る気がないなら、別れて”と切り出される。その場はごまかしたものの、さくらと入れ代わりでやって来た女優志願の蘭子といいムードになったところに、たまたま引き返してきたさくらが現われ、いよいよ愛想を尽かされる。その後、旅行に行ったさくらはなかなか戻らず、最初こそ独身生活気分を満喫していた俊介だったが…。

【クレジット】

監督	行定勲		
原作	中谷まゆみ		
脚本	伊藤ちひろ		
主題歌	井上陽水		『赤い目のクラウン』
出演	豊川悦司	Etsushi Toyokawa	北見俊介
	薬師丸ひろ子		北見さくら
	水川あさみ		吉沢蘭子
	濱田岳		古田誠
	城田優		西田健人
	津田寛治		
	奥貫薫		
	井川遥		井川ゆり
	石橋蓮司		原文太

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.